

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	平成30年度 第5回鴻巣市まちづくり市民会議		
開催日	平成30年9月26日(水)		
開催時間	午前9時30分 開会 ・ 午前11時40分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所 本庁舎4階 大会議室		
議長(委員長・会長)氏名	会長 一瀬 隆一		
出席者(委員)氏名(出席者数)	一瀬隆一(会長) 松澤敏夫(副会長) 青木照男 神下光勝 日比暁美 船塚和雄 大森由恵 島寄武彦 佐藤百合子 大山一郎(10名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	なし		
事務局職員職氏名	総合政策課副参事 谷広明 総合政策課主任 古川優介 総合政策課主事 千葉佳代		
傍聴者	なし		
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 前回の議事及び本日の進行について 4 議事 (1) まちづくり市民会議審議報告書(案)の審議 5 その他 (1) まちづくり市民会議のあり方について (2) その他 6 閉会		
会議の内容	(決定事項など) ① 「3 前回の議事及び本日の進行について」では、本日出た意見を含め、文言等の細部調整作業を会長・副会長に一任し、答申を行うことを確認。 ② 「4 議事(1) まちづくり市民会議審議報告書(案)の審議」では、事前送付した報告書(案)に基づき、追加修正意見等を審議。 主な意見は以下のとおり。		

## 「4 議事（1）まちづくり市民会議審議報告書（案）の審議」

### <序論部>

#### ●「1. まちづくり市民会議について（2）評価・検証等の対象」

審議施策の決定経緯について、30の重点分野を含む15の施策の中から、委員の意向により4施策が選定された旨を明記する。

### <高齢者福祉の推進>

#### 検討課題3：介護予防事業の拡大

●【改善項目 一歩踏み込んだ具体的な対策】何に対して踏み込むのか。

#### 検討課題4：サービスの担い手となる人材育成及び確保策の検討

#### ●【改善項目 地域謝礼の充実化】

シルバー人材センターではなく、社会福祉協議会に登録した方が行うボランティアに対し、謝礼としてお買物券が渡されている（シルバー人材センター及び社会福祉協議会での謝礼の形態を事務局にて確認した上で記載する）。なお、吹上地域に限定せず市内全域における実態をふまえ、提言書に盛り込む旨、確認。

● シルバー人材センターや社会福祉協議会へのボランティア登録には敷居が高い印象がある。そこで、新たな提言として、活動団体を小規模（町内会単位等）にし、登録のしやすさ・利用のしやすさをアピールするべきではないか。

#### 検討課題5：若い世代の意識改革

#### ●【改善項目 義務教育時代から介護の意識を定着させる】

説明欄に義務教育時代以外の記載もあるので、改善項目の表記を再考する。

#### ●【改善項目 ボランティアを日常に組み込む仕掛けづくり】

検討課題として若い世代を対象としているため、「仕事以外の時間」だけでなく「学業以外の時間」も介護ボランティアに充てるような仕掛けづくりを検討されたい。

●【改善項目 情報を共有する】誰と誰が共有するのかを明確に記載。

### <市街地の整備>

#### 検討課題2：市全体・地区毎のまちの再整備の促進

●【改善項目 住宅リノベーションへの支援】及び【改善項目 大学生向けシェアルームの提供】について、ターゲット層は異なるものの、内容に関連があることから記載方法を整理。

#### 検討課題4：北新宿地区・広田地区の賑わい向上

#### ●【改善項目 広田地区への鴻巣駅バス路線の増発】

住民の生活圏（最寄駅）について、北新宿地区は行田駅、広田地区は加須駅であることから、近隣市の駅間とのコミュニティバスの乗り入れや増発等により、広域交通の連携を図られたい。

## <学校教育の充実>

### 表題部

●重点基本事業として「6 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」のみが明記されていることについて

総合振興計画における本施策の重点基本事業3つの中から、事務局にて審議対象を選定した経緯を示す。委員の選定によるものではない旨、明記する。

### 検討課題1：鴻巣の文化を子どもたちに伝承する取組

#### ●【改善項目 アクティブシニアの活用】

「社会福祉協議会には講師ボランティア登録制度がある。」という表現について、本人からの申請によるものであることを明確にするため、“登録勸奨”の旨を明記。利用したい側・手を貸す側の双方向からのアプローチが大事である。

### 検討課題5：虐待問題の解決

検討課題として「虐待」と定義されているが、改善項目と直接結びついていない。不登校の子どもを外へ促す方策として整理する旨、確認。

#### ●【改善項目 花・緑等を活用した命を学ぶ事業の推進】

子どもの力では芝刈機の操作は困難なため、“子どもを取り込んだメンテナンス”、特に卒業生（中学生）を取り込んで芝生の手入れを行える環境づくりを進められたい。

## <観光の振興>

### 検討課題5：既存観光資源の見直しやステップアップ

#### ●【改善項目 年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり】

「花の街、鴻巣」のPRではなく、公園や自宅周辺で花を育てるような、市民運動として花を盛り上げたらどうか。

### 検討課題6：来訪者の受入れ体制の不備

●【現状と問題点】「ひなの里」については、“場所がわかりにくく、駐車場のラインも見えず、利用しづらい”ことを意図している。

#### ●【改善項目 来訪者の受入れ体制の充実】

フィルムコミッション事業が“残念ながら本市は遅れていると思う”

⇒【現状と問題点】に記載。具体的には、「陸王」の撮影地であることがHP内の撮影実績欄に情報更新されていないことが挙げられる。

#### ●【改善項目「おもてなし」の強化】

・ パンジーマラソンだけでなく、びっくりひなまつりや花まつり等も大きなイベントであるため、明記。

・ 「ガイド」ではなく「観光ボランティアガイド」と具体的な表現へ変更。

### 検討課題 7：宣伝告知や情報発信の拡充

#### ●【市民等による観光認知度アップのための取組強化】

- ・ 説明項目のうち、上から2項目については関連しているため、ひとつにまとめる。
- ・ 市から情報を受けて大使がSNSで情報発信できる仕組みを構築したらどうか。
- ・ 情報化社会の中で、フォトコンテストなど、SNSを活用して、発信・拡散しやすいイベントを実施  
⇒鴻巣市全般の魅力についてのフォトコンテストを実施したらどうか。という意図を反映させた表現へ変更する。
- ・「観光アピールのためのキャッチコピーを作る」を強く協調したい。

### 検討課題 8：広域観光交流の推進や観光対策のプロ化

#### ●【改善項目 近隣市町と連携したツアーの実施】

- ・ 「皆野町とのコラボはいい取組だった」について、何と何のコラボかを明確にするため、“鴻巣市のポピーまつり”と“皆野町の天空のポピーまつり”であることがわかるよう記載。
- ・ 「広域観光ルートによるバスツアー」では民間の観光バスによるツアーを連想するため、“近隣のコミュニティバスを利用した広域観光ルートによるバスツアー”であることがわかるよう記載。

#### ●【改善項目 観光振興によるプロフェッショナルの充実】

⇒「プロフェッショナルの充実による観光振興」の表現の方が適切ではないか。また、短期研修や人事交流等、観光関連企業との連携を検討したらどうか。

#### 「5 その他（1）まちづくり市民会議のあり方について」

事前送付したアンケートへの記入に加え、各委員より、2年間の審議を終えた感想・次年度以降に向けての課題等、次のとおりご意見をいただいた。

- ・ 2グループに分かれての審議形態については、委員同士の議論の時間を多く持て、良かったと思う。
- ・ 市民会議での審議を出身団体へ持ち帰り、新たな議論のきっかけになった。メンバーの意識も変わったと思う。
- ・ 旧町の垣根を越えて、市全体について勉強する良い機会となった。
- ・ 市民会議を機に改めて市について勉強でき、知らないことも多かった。
- ・ 審議にあたり、各施策の具体的な計画について、事前に勉強会を開催するべき。
- ・ 総合振興計画の進捗管理に重点を置いた、市民目線での評価を行うことも必要。